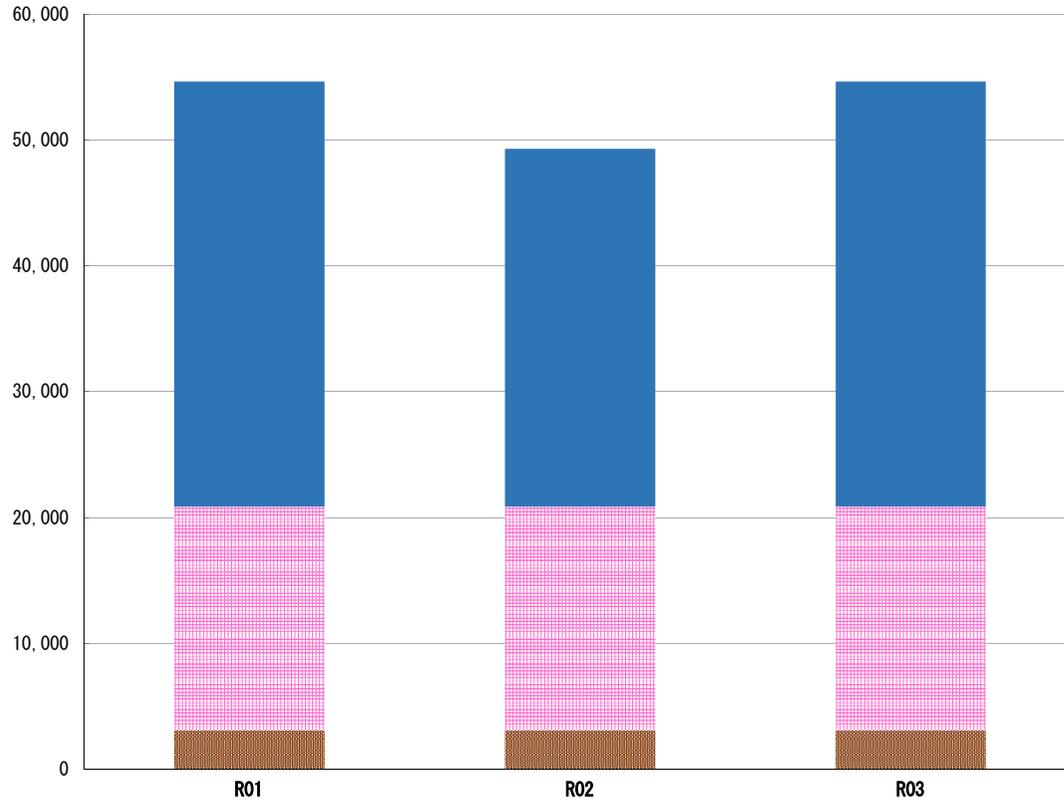


# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R01	R02	R03
財政調整基金		3,106	3,107	3,107
	和歌山県土地開発公社債務保証対策基金	0	0	6,314
減債基金	福祉対策等基金	8,372	5,768	5,478
	産業開発基金	7,217	5,796	5,536
	地域医療介護総合確保基金	5,166	4,285	4,450
	後期高齢者医療財政安定化基金	2,351	2,351	2,351
	基金残高合計	54,640	49,295	54,638

令和3年度

和歌山県

## 基金全体

(増減理由)

和歌山県土地開発公社に対する債務保証に係る債務の履行に要する経費の財源に充てるための和歌山県土地開発公社債務保証対策基金の新規設置等により、基金残高は前年度に比べ54億円増加し、546億円となった。

(今後の方針)

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持するよう努める。

その他、産業開発基金の企業立地奨励金等への充当や、地域医療介護総合確保基金の医療・介護施設の整備や医療・介護従事者の確保等への充当など、その他特定目的基金を有効に活用していく。

## 財政調整基金

(増減理由)

令和3年度は、新規積立てや収支不足に伴う取崩しを行っておらず、前年度と同規模を維持している。

(今後の方針)

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持するよう努める。

## 減債基金

(増減理由)

近年、新規積立てや収支不足に伴う取崩しを行っておらず、同規模を維持している。

(今後の方針)

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持するよう努める。

## その他特定目的基金

(基金の用途)

- ・地域振興基金 : 市町村等と一体となった地域の振興
- ・研究開発推進基金 : 県内における優れた研究開発を重点的に推進
- ・産業開発基金 : 企業の導入及び産業の近代化
- ・土地開発公社債務保証対策基金 : 和歌山県土地開発公社に対する債務保証に係る債務の履行に要する経費の財源に充てるため

(増減理由)

- ・地域振興基金 : 国民文化祭開催及び全国高等学校総合文化祭開催等への充当による減少
- ・研究開発推進基金 : 先駆的産業技術研究開発支援への充当による減少
- ・産業開発基金 : 企業立地奨励金等への充当による減少
- ・土地開発公社債務保証対策基金 : 和歌山県土地開発公社債務保証対策基金の新規設置による増加

(今後の方針)

- ・地域振興基金 : 市町村と共同して行う施設整備等に充当
- ・研究開発推進基金 : 企業の技術開発のための研究費に係る補助等に充当
- ・産業開発基金 : 誘致企業への立地奨励金等に充当
- ・土地開発公社債務保証対策基金 : 和歌山県土地開発公社に対する債務保証に係る債務の履行に要する経費に充当